

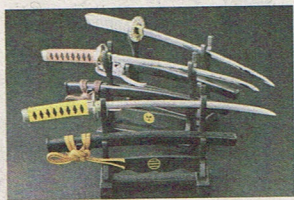
日経 MJ

パリコレ19~20年秋冬レ

新選組の愛刀 ナイフに

幕末の京都で名をはせた新選組隊士愛用の刀剣を模したペーパーナイフが、ニックン刃物(岐阜県関市、<http://www.nikken-cutlery.com/>)から登場。

新選組局長・近藤勇の「長曾祢虎徹(ながそねこてつ)」のほか、沖田総司の「菊一文字則宗(のりむね)」、斎藤一(はじめ)の「鬼神丸国重(くにしげ)」の3振りを題材にデザインした。全長21cm。刃はステンレス。2年前に織田信長の愛刀などを題材にした商品を発売しており、今回が「名刀ペーパーナイフ」シリーズの第2弾。今回は鰐(つば)なども忠実に再現したという。各税別3400円(掛け台付き)。



いち早 Check

じゅうたん2枚お試し

ペルシャじゅうたんの本場イランから高級じゅうたんの輸入販売するミスターギャッベ(神戸市東灘区、<http://mrgabbeh.com/>)は、2枚試してから気に入った方の1枚だけを購入できる「セレクト&トライサービス」を始めた。



同社の通販サイトから商品を2枚選び、「部屋のイメージに合わなかった」など、実際に敷いてみて気に入らなかった1枚を専用の箱に入れて返却できる。注文時に2枚分の代金を払い、1枚を返却すると、そ

©courtesy by Celine



セリーヌ

80年代を意識したシルエットが新鮮だった「サンローラン」は大きな肩の男性的なコートやサテン、スパンコールなどドレッシーな素材を用いたパンツスーツなど強いイメージをみせた。

「イッセイミヤケ」は昨年シーズン発表された新素材「DOUGH DOUGH」をウール地にシテコートやジャケットを作ったほか、さらに新し

入した。メンズの構築とフェミニンさがうまく統合された落ち着きのあるエレガンスをみせた。

「イッセイミヤケ」は登場。ティアドロップ素材「DOUGH DOUGH」をウール地にシテコートやジャケットを作ったほか、さらに新し

スカート、ブーツ、またはよりカジュアルなスタイルとしてデニムに膝上丈のロングブーツなども登場。ティアドロップ素材「DOUGH DOUGH」をウール地にシテコートやジャケットを作ったほか、さらに新し

肩のシルエット 個

肩のシルエットに格別なこだわりをみせたのが「バレンシアガ」だ。ポディーはテラードで肩の端部分のみを際立たせたジャケットや、肩のラインの後ろに布を寄せて高くして傾斜を出したコートなど一見すると驚くが、着ると自然な流れを持つシルエットになる構造が興味深い。

「ルイ・ウィトーン」はルーヴル美術館の中庭にボンピドーセンターを模したランウエーを設置。先シーズンから続いて特徴的な波打つ肩のシルエットに80年代を思わせる原色カラーとボンピドーが呼応し、ルーヴルという歴史と現代が交錯するコレクションをみせた。

83年に就任して以来、2月19日に逝去するまで「シャネル」のデザイナーであり続けたカール・ラガーフェルド氏が手掛けた最後のコレクションが、最終日に行われた。雪山の風景に瀟洒(しょうしゃ)なシャレーが並ぶランウエーに白黒の千鳥格子のコートやハイウエストのワイドパンツが映え、ロマンチックなデザインに80年代を思わせる原色カラーとボンピドーが呼応し、ルーヴルという歴史と現代が交錯するコレクションをみせた。

同氏が手掛けたルが見事によみがえることによって、同デザイナーによるランド復興というオが現在のファッション業界で定着するきっかけをつくった。フーズを歩くモデルは滑り、観客たちも驚き、手を続け、「皇室」を追悼するとともに時代の終わりを改めて感じた。

(パリ)吉

